

社会資本総合整備計画（広域連携事業） 中間評価書

令和3年9月

計画の名称	備後圏域連携中枢都市圏における広域的な産業物流活性化計画（重点）		
計画・交付期間	平成29年度～平成33年度（5年間）	交付対象	岡山県（広島県と連携）
計画の目標 広域的特定活動	備後圏域連携中枢都市圏は、中国地方全体の経済成長を牽引し、住民が安心して豊かな暮らしを営むことを目的に、平成27年に連携協定を締結し、福山市を連携中枢都市とした6市2町から形成される都市圏である。本都市圏は、広島空港のほか重点港湾の福山港や重要港湾の尾道糸崎港等の国際物流拠点を有し、圏域の大部分が備後地区工業特別整備地域にも指定されていたことから、鉄鋼や造船など重工業、繊維業や木工業が成長し、瀬戸内海地域における中核的な工業拠点として発展してきた。それに伴い、農業・工業技術系の試験研究機関を始め、大学研究機関など、幅広い分野における産業支援拠点が確立された。加えて、平成26年度の中国横断自動車道尾道松江線的全線開通により、山陽自動車道や西瀬戸自動車道とつながる高速道路ネットワークが形成されたことや、更に高速道路網を補完する地域高規格道路の整備が、現在、国において進められており、国道2号玉島・笠岡道路及び笠岡バイパスが完成すれば、笠岡東IC（仮称）や笠岡西IC（仮称）の利用により、この地域の経済を牽引する産業拠点へのアクセスが大幅に改善されることから、圏域の経済活動は今後も更なる発展が期待される。これら圏域の強みを活かしながら、年間粗鋼生産量が全国第1位を誇る鉄鋼業や欧米市場から高い評価を受けている繊維事業等、世界有数の工業製品に関する広域的な事業活動を支援するために、広域的な物流結節点と産業集積地及び産業集積地相互のアクセス性を高め物流の効率化に資する基盤整備を推進することで、産業活動の競争力を向上させる。		
計画の成果目標（定量的指標）	【広島県・岡山県 共通目標】備後圏域連携中枢都市圏における製造品出荷額を32,600億円以上とする。 【岡山県】備後圏域連携中枢都市圏（岡山県内）における製造業従事者数を10,658人以上とする。		

定量的指標の定義及び考え方	定量的指標の現況値及び目標値			評価の実施予定						
	当初現況値	中間目標値	最終目標値							
	H25	H31末	H33末							
【広島県・岡山県 共通目標】備後圏域連携中枢都市圏における製造品出荷額を32,600億円以上とする。 【広島県・岡山県 共通目標】製造品出荷額等 計画最終年次の備後圏域連携中枢都市圏における製造品出荷額を現状維持以上とする。（工業統計調査ベース） 【岡山県】備後圏域連携中枢都市圏（岡山県内）における製造業従事者数を10,658人以上とする。 【岡山県】製造業従事者数 計画最終年次の備後圏域連携中枢都市圏（岡山県内）における製造業従事者数を現状以上とする。（工業統計調査ベース）	32,600億円 （基準値）	32,600億円 基準値より増加	32,600億円 基準値より増加	中間：令和3年9月 事後：令和5年9月						
	10,658人 （基準値）	10,658人 基準値より増加	10,658人 基準値より増加							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,620百万円	A	1,620百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.00%

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
整備計画構成自治体・団体 (広島県、岡山県)	令和3年9月
岡山県土木部にて評価を実施	公表の方法
	岡山県ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H29	H30	H31	H32	H33		
A11-001	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	県道	改築	(一) 山口押撫線(篠坂工区)	現道拡幅 L=1,890m	笠岡市						560	
A11-002	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	県道	改築	(一) 山口押撫線(入田工区)	現道拡幅 L=220m	笠岡市						120	
A11-003	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	県道	改築	(一) 園井里庄線	バイパス L=1,000m	笠岡市						650	
A11-004	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	県道	改築	(一) 大島中新庄線(1工区)	バイパス L=250m	笠岡市						80	
A11-005	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	県道	改築	(一) 大島中新庄線(2工区)	バイパス L=400m	笠岡市						80	
A11-006	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	県道	改築	(一) 大島中新庄線(3工区)	現道拡幅 L=290m	笠岡市						40	
A11-007	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	県道	改築	(一) 芳井油木線	現道拡幅 L=130m	井原市						90	
A11-008	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	県道	改築	(一) 笠岡美星線(A工区)	現道拡幅 L=280m	井原市						0	
A11-009	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	県道	改築	(一) 笠岡美星線(B工区)	現道拡幅 L=520m	井原市						0	

B 関連社会資本整備事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考											
										H29	H30	H31	H32	H33													
合計																											
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考											
C 効果促進事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考											
										H29	H30	H31	H32	H33													
合計															0												
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考											
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				交付金対象事業の整備により交通アクセスが向上し、【広島県・岡山県 共通目標】備後圏域連携中枢都市圏における製造品出荷額は増加傾向であり、事業の効果は発現している。																							
II 定量的指標の達成状況				指標①(製造品 出荷額等)		中間目標値 (H31末)	32,600億円	目標値と実績値 に差が出た要因		平成30年には33,115億円と順調に伸びていたが、平成31年は32,210億円と落ち込んでいる。これはコロナ禍の影響で、製造業の需要が弱まり製造量が減少したことに伴う出荷量の減少により、短期的に出荷額が落ち込んだものと推察される。																	
						中間実績値 (H31末)	32,210億円																				
				指標②(製造業 従事者数)		中間目標値 (H31末)	10,658人	目標値と実績値 に差が出た要因											新規企業の立地などにより従業者数が想定より堅調に伸びたため、当初の目標を上回った。								
						中間実績値 (H31末)	11,085人																				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																											
3. 特記事項(今後の方針等)																											
コロナ禍の影響により製造品出荷額は短期的な落ち込みが見られるが、本計画の進捗により製造品出荷額および製造業従事者数は増加傾向を示しており、一定の事業効果が確認できる。引き続き本計画を推進し、最終目標の達成に向けて取り組んでいく。																											